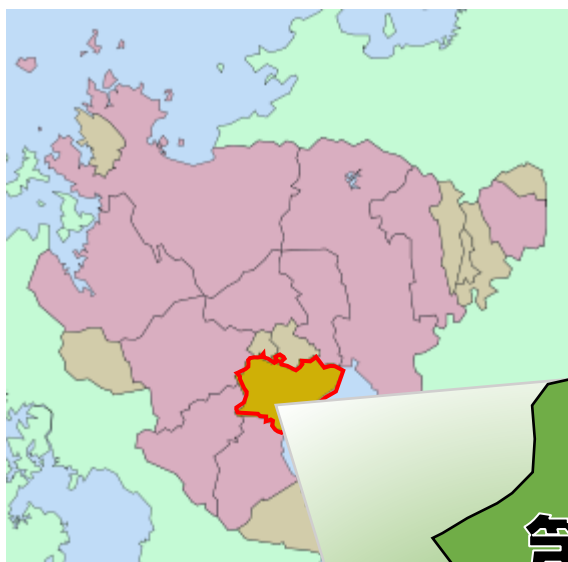




第2期 白石町 まち・ひと・しごと 創生総合戦略



令和3年1月
令和4年5月改定（案）
佐賀県白石町

目次

I はじめに	1
1 趣旨	1
2 総合戦略の計画期間	2
3 総合戦略の検証・改善・改訂	2
4 総合戦略の体系図	3
II 第1期の検証結果、評価及び第2期での改善点等	4
基本目標①	4
基本目標②	6
基本目標③	7
基本目標④	8
III 第2期の基本目標、基本的方向、具体的な施策	9
基本目標①	10
本気！やる気！元気！しろいし！	
～若者が安心して働ける場をつくる～	
(1)目指すSDGs	
(2)数値目標	
(3)現状と課題	
(4)めざすべき方向	
(5)具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)	
1 企業誘致や起業等による雇用の確保	
2 新規就農者及び農業後継者の育成・確保	
3 新しいことへ挑戦する人への積極支援	
4 ふるさとで活躍する人材の育成	
基本目標②	15
来たか！住みたか！よかところ！しろいし！	
～白石への新しいひとの流れをつくる～	
(1)目指すSDGs	
(2)数値目標	
(3)現状と課題	
(4)めざすべき方向	
(5)具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)	
1 白石町の魅力発信	

- 2 定住促進、移住支援
- 3 地域観光資源の再発見

基本目標③.....19

うれしい！楽しい！大好き！しろいし！

～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

- (1) 目指すSDGs
- (2) 数値目標
- (3) 現状と課題
- (4) めざすべき方向
- (5) 具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)
 - 1 結婚推進対策の充実
 - 2 出産支援
 - 3 子育て支援
 - 4 教育環境の整備

基本目標④.....25

つながる！温もる！かがやく！しろいし！

～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～

- (1) 目指すSDGs
- (2) 数値目標
- (3) 現状と課題
- (4) めざすべき方向
- (5) 具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)
 - 1 町民協働によるまちづくり
 - 2 安全・安心で快適な住みよいまちづくり
 - 3 誰もが活躍できるまちづくり

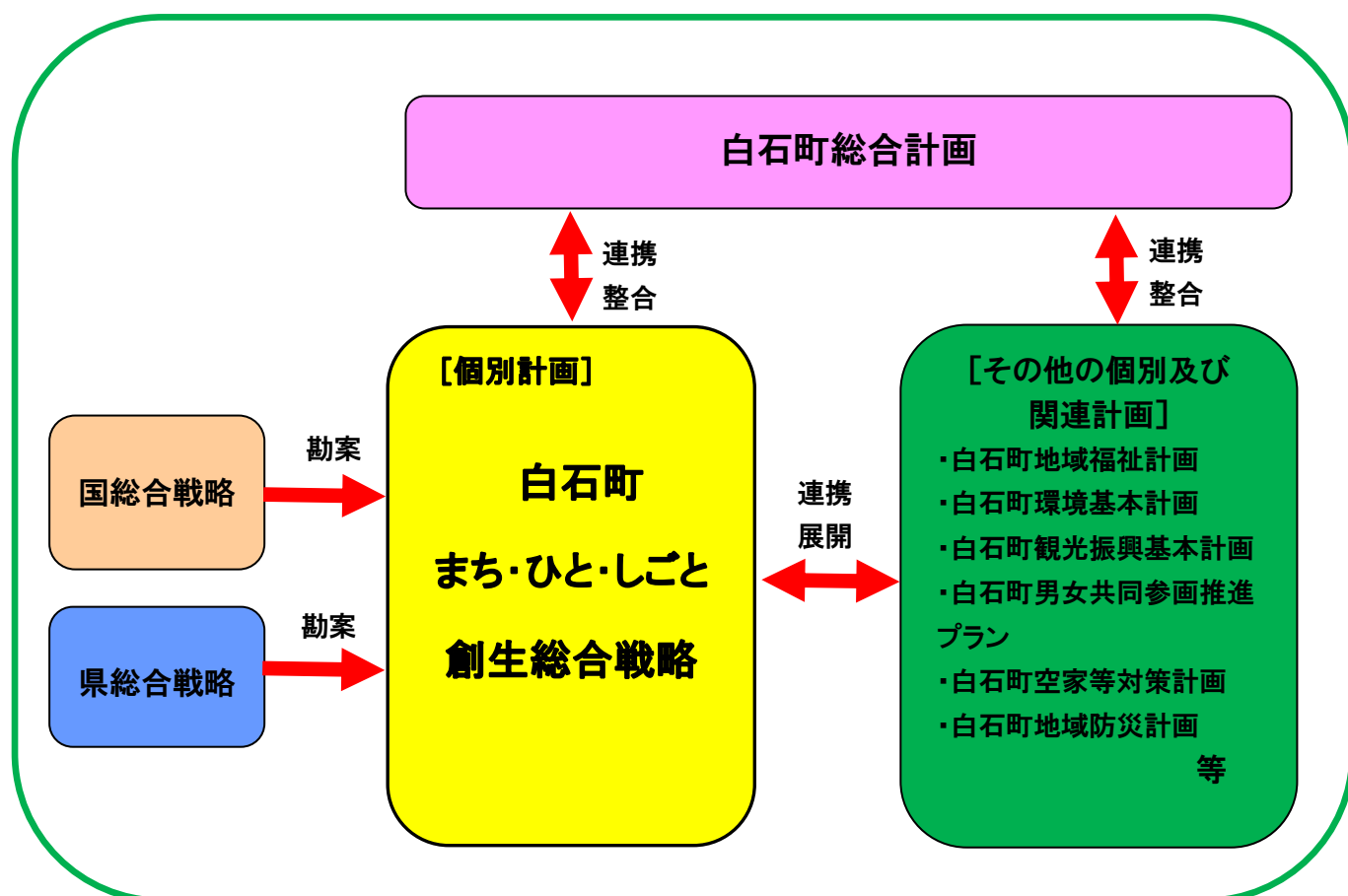
I はじめに

1 趣旨

白石町の人口は、合併直後の2005年(平成17年)は27,057人、2015年(平成27年)には23,941人と、10年間で△11.5%と大きく減少しており、今後も減少が見込まれています。このため、本町では、まち・ひと・しごと創生法第10条の規定に基づき、白石町人口ビジョンにおける人口の将来展望等を踏まえ、第1期白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少が地域経済を縮小させ、さらに人口減少を加速させる負のスパイラル(悪循環の連鎖)の克服と地方創生に取り組んできました。

今回、国が策定した第2期総合戦略の考え方や政策5原則(自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視)、本町の第1期総合戦略の効果検証結果等に基づき、第2期白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、住みよい環境の確保と活力あるまちを目指して更なる地方創生の動きを加速させていきます。

また、この白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、白石町総合計画の人口問題等に関する個別計画として位置付け、その他の個別及び関連計画との連携を図りながら取り組みます。



2 総合戦略の計画期間

総合戦略の対象期間は、令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)の5年間とします。

3 総合戦略の検証・改善・改訂

総合戦略の効果検証及び改善については、基本目標の数値目標や具体的施策に係るKPI(重要業績評価指標)の達成度による検証・改善を重ねる仕組み、PDCA(Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善))サイクルを確立し、適切に管理していきます。

また、効果的な施策の追加が必要な場合などは、柔軟かつ積極的に対応するため、年度中途であっても改訂していきます。

※KPI

「Key Performance Indicator」の略。重要業績評価指標。各事業の目標達成度合いを測る指標となるもの。

●施策追加の例

- ・国、佐賀県、近隣市町及び関係機関との連携事業
- ・法制度の新設等による地方創生関連補助事業等
- ・町民協働による効果的な取組
- ・国が進める「小さな拠点」の形成(集落生活圏の維持)

4 総合戦略の体系図

白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、以下の4つの基本目標を設定し、その具体的な施策に取り組むことで、白石町人口ビジョンの将来展望の達成に努めます。

白石町 人口ビジョン

第2期白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略

I 人口の分析

- ・本町の総人口は今後、減少を続ける。
- ・合計特殊出生率が回復しない場合、または人口流出が止まらないと今後は加速度的に人口減少が進む。

II 人口の将来展望

- ・人口減少を悲観せず、様々な施策により人口減少のスピードを抑える。
- ・目標人口を令和22年(2040年)には16,061人、令和42年(2060年)には11,137人とする。
- ・合計特殊出生率を2040年までに1.8、2060年までに2.0に上げることを目標とする。

基本目標①

本気！やる気！元気！しろいし！
～若者が安心して働ける場をつくる～

基本目標②

来たか！住みたか！よかところ！しろいし！
～白石への新しいひとの流れをつくる～

基本目標③

うれしい！楽しい！大好き！しろいし！
～若い世代の結婚・出産・子育ての
希望をかなえる～

基本目標④

つながる！温もる！かがやく！しろいし！
～まちに活力をもたらし、
地域をみんなで盛り上げる～

横断的 な目標

～新しい時代の流れを力にする～
Society5.0の推進、
～多様な人材の活躍を推進する～
地方創生SDGsの実現
誰もが活躍する地域社会の推進

※SDGs・・・2015年の国連サミットで採択された、「誰一人残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のため、2030年を年限とする17の国際目標。

※Society5.0・・・Society1.0 狩猟、Society2.0 農耕、Society3.0 工業、Society4.0 情報、Society5.0 経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな社会。

Ⅱ 第1期の検証結果・評価及び第2期での改善点等

基本目標①

本気！やる気！元気！しろいし！
～若者が安心して働ける場をつくる～

1 企業誘致や起業等による雇用の確保

KPIの実績がなく、具体的な施策の多くがKPIに有効であったとは言えないという評価を踏まえ、第2期は、KPI等をよりわかりやすく、具体的なものに変更し、その達成に向けた施策に取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
女性従業員数	5年間で15人	5年間で0人
公共的機関	5年間で1機関	5年間で0機関
企業誘致数	5年間で2事業所	5年間で0事業所

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI達成の評価
女性にやさしい空間づくり	進捗していない・集約	有効であったとは言えない
公共的機関の誘致	進捗していない・変更	有効であったとは言えない
教育・研究開発機関の誘致と連携	進捗している・変更	有効であった
白石町に合う企業の誘致	進捗していない・変更	有効であったとは言えない

2 新規就農者及び農業後継者の育成・確保

KPIの目標は達成していませんが、農業従事者の高齢化、後継者不足を受け、新規就農者や後継者への支援、就農及び移住を目的とした首都圏等からの就農希望者を受け入れる「しろいし農業塾」などに取り組み、一定の成果が出たところです。継続的な取り組みが必要という評価を踏まえ、第2期についても引き続き実施していきます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
新規就農者数	5年間で150人	5年間で109人
しろいし農業塾卒業者の農業従事者数	5年間で20人	5年間で7人
農業従事者(被雇用者)数	5年間で25人	5年間で13人

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI達成の評価
新規就農者対策支援	進捗している・継続	有効であった
しろいし農業塾	進捗している・継続	有効であった
農業従事者(被雇用者)確保対策	一定の進捗・継続	有効であった

3 新しいことへ挑戦する人への積極支援

KPI が達成できた取組みはありましたが、開発された製品の採算面での検証等が必要との評価でした。第2期は新たなKPIを設定して、新規農産物の作付け拡大、販路拡大や他業界との連携を模索していきます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
起業・創業者数	5年間で5人	5年間で0人
6次産品開発件数	5年間で46件	5年間で76件
新規農産物数	5年間で3品	5年間で17品

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
白石町創業者支援制度	進捗していない・継続	有効であったとは言えない
儲かる農産物の開発	目標達成・変更	有効であった
6次産業化の推進	目標達成・集約	有効であった
商工業者などへの支援	一定の進捗・継続	有効であった

4 ふるさとで活躍する人材の育成

目標に対するKPIの設定がわかりづかったことを踏まえ、第2期は新たなKPIを設定して、企業や大学、高等学校等との連携に継続して取り組みます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
Uターン者数	5年間で25人	5年間で0人

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
“ふるさと学”の推進	進捗している・継続	有効であった
地元定着の促進	一定の進捗・継続	有効であった

基本目標②

来てよか、見てよか、食べてよか、住んでよか、しろいし！
～白石への新しいひとの流れをつくる～

1 白石町の魅力発信

道の駅のオープンにより、魅力発信の手段が増えました。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
道の駅来店客数	年間30万人／年	17.8万人／年(9カ月間の実績)
町ホームページアクセス数	平成26年 197,700件／年 平成31年 237,200件／年	平成26年 132,165件／年 令和元年 228,592件／年

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI達成の評価
道の駅整備事業	進捗している・更に発展	有効であった
がばいよかこ発信事業	進捗している・継続	有効であった

2 定住促進、移住支援

KPIが達成できた取組みがあった一方で、進捗のなかった施策もありました。第2期は施策の見直しを行い更なる移住・定住者の増加を目指します。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
空き家バンク登録件数	5年間で20件	5年間で28件
移住者数	5年間で30人	5年間で5人

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI達成の評価
農村型振興分譲宅地の創設	進捗していない・廃止	有効であったとは言えない
空き家・空き地バンク、お試し移住	一定の進捗・更に発展	有効であった
県外への通勤者への駐車場代の助成	進捗していない・変更	有効であったとは言えない
生活排水処理施設の整備の促進	令和2年4月より実施	令和2年4月より実施

3 地域観光資源の再発見

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
観光入込客数	平成26年 286,600人／年 平成31年 315,200人／年	平成26年 286,600人／年 令和元年 351,465人／年
観光ルート数	5年間で3本	5年間で3本

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI達成の評価
広域的なグリーンツーリズム	一定の進捗・変更	有効であった
杵島山系歴史散策コースの設定	一定の進捗・変更	有効であった
交通手段の拡充(観光客の利便性の向上)	一定の進捗・継続	有効であった
地域資源活用観光振興事業での計画事業の実施	一定の進捗・変更	有効であった

基本目標③

出会いに感謝！目指せ子宝のまち、しろいし！
～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

基本目標③については、すべての施策において、継続的な取組み、切れ目ないサポートを続けていくことが必要という評価を踏まえ、各施策の状況に応じて KPI の見直しを行うとともに、新たな施策も検討していきます。

1 結婚推進対策の充実

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
婚活サポート事業による成婚数	5年間で20組	5年間で7組

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
婚活サポート事業の拡充	一定の進捗・継続	有効であった

2 出産支援

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
不妊治療制度の拡充	一定の進捗・継続	有効であった
多子世帯への助成	一定の進捗・継続	有効であった

3 子育て支援

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
町内での病児・病後児保育施設数	5年間で1施設	5年間で0施設

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
病児・病後児保育の実施	進捗していない・変更	有効であったとは言えない
一次預かり事業等の充実	一定の進捗・継続	有効であった
子育て支援の情報発信強化	一定の進捗・継続	有効であった
子育てに関するワンストップ相談体制の整備	進捗・変更	有効であった
公園施設の充実	一定の進捗・継続	有効であった
切れ目のない子育て支援の充実	進捗している・継続	有効であった

4 教育環境の整備

第2期は小学校と中学校の再編整備に取り組んでいきます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
コミュニティ・スクール導入学校数	5年間で11校	5年間で11校

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
コミュニティ・スクールの導入	目標達成・継続	有効であった

基本目標④

くらしに豊かさを、地域に絆を、人の温もりを感じるまち、しろいし！
～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～

1 町民協働によるまちづくり

地域づくり協議会の設立に向けて、モデル地区の支援に取り組み、地域住民が主体となって解決していこうという機運が高まりつつあります。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
地域づくり協議会の設立数	5年間で8か所	5年間で0か所
NPO法人の設立数	5年間で3件	5年間で1件

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
地域づくり協議会の設立支援	一定の進捗・更に発展	有効であった
NPO法人・CSO活動の支援	一定の進捗・継続	有効であった

2 安全・安心で快適な住みよいまちづくり

KPI達成に向け、第2期は新たな施策も検討していきます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
自主防災組織の組織率	5年後に100%	5年間に32%

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
自主防災組織の組織化推進	一定の進捗・更に発展	有効であった

3 誰もが活躍できるまちづくり

第2期も継続して取り組むこととし、新たなKPIも設定していきます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標	実績値
シルバー人材センター年間登録者数	5年後に120人	5年後に112人

【第1期の具体的な施策】	効果検証・今後の方針	KPI 達成の評価
生涯現役としての活躍推進	一定の進捗・継続	有効であった
女性活躍の推進	一定の進捗・更に発展	有効であった
地域団体によるつながる強化	一定の進捗・更に発展	有効であった

Ⅲ 第2期の基本目標、基本的方向、具体的な施策

まずは、町民の方に白石町は住みよいまちと思っていただけることが、将来的な移住や定住、関係人口の増加につながると考え、町の現状や実態を踏まえた施策に取り組めます。

各基本目標における数値目標や重要業績評価指標(KPI)は、白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的な施策の実行により達成すべき目標を記載しています。

したがって、民間企業や個人による雇用など、町で把握できないものは対象外としています。



基本目標①

本気！やる気！元気！しろいし！
～若者が安心して働ける場をつくる～

（１）目指す SDGs



（２）数値目標

対象項目	数値目標
新規就農者数	5年間で125人
企業を誘致するための候補地確保	5年間で1カ所

（３）現状と課題

- 本町の平成29年(2018年)の社会減による人口減少は221人ですが、年齢階級で見た場合、20歳から29歳の転出超過が195人となっており、若者の町外流出が目立ちます。特に、県内の他市町や福岡県への転出が多く見られます。
- 令和2年11月に実施した町内2校の高校生へのアンケートでは、将来は約50%(42%)が県外、32%(35%)が県内、10%(17%)が現住所に住みたい、と回答しています。また、将来就きたい職業として、公務員24%(32%)、医療・介護・福祉21%(19%)、流通・サービス・飲食業14%(12%)、製造業・建設業14%(9%)、農林水産業4%(8%)などとなっています。※()内は白石町在住の生徒の回答。
- 次代を担う若者の流出は白石町にとって大きな痛手となるため、魅力のある職業など安心して働ける場をつくり、若い世代の町外流出を食い止める必要があります。

（４）めざすべき方向

- “農業のまち”の魅力を引き出していきます。
- 高校や大学と連携し、地元定着につながる活動に取り組みます。
- 雇用の確保のため、企業誘致するための候補地を確保します。
- 白石町の既存企業を育成・支援し、また、新しく起業することへのチャレンジや出店を支援します。
- 農業支援体制を強化し新規就農者や農業従事者の育成・確保を目指します。

(5) 具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)

1 企業誘致や起業等による雇用の確保

本気！やる気！元気！しろいし！

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
出店数	5年間で3店
企業を誘致するための候補地確保	5年間で1カ所

【具体的な施策】	内容
(1)働く人たちにやさしい空間づくり	女性が求めるニーズを掴み、女性に配慮した施設整備や、若者が集まる空間作りに努めます。 外国人が気楽に集まれる場所・空間作りに努めます。 主要道路沿いや商店街の空き店舗を活用した出店や起業を推進し、女性や若者の働く場の創出を図ります。
(2)企業を誘致するための候補地確保	白石町に適応した企業を誘致するため、町有地を含め候補地を検討し確保します。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
新規就農者数	5年間で125人
しろいし農業塾卒業者の農業従事者数	5年間で15人
農業従事者(被雇用者)数	5年間で25人

【具体的な施策】	内容
(1)新規就農者の確保及び支援	新規就農希望者へ本町農業の概要、活用できる補助事業及び制度資金を紹介するとともに、就農を後押しするセミナーの開催や、現行新規就農対策の拡充により、就農前の初期投資の負担軽減や、就農後は、一定期間の助成を行うなど新規就農者や後継者の確保を図ります。同時に、関係機関一体となってアドバイスを行います。
(2)しろいし農業塾	町内でいちご栽培農家として就農及び移住してもらうため、県外から就農希望者を募集し、白石地区いちごトレーニングファームで研修を行い、農業の担い手確保と定住促進へ繋がります。 塾生の就農にあたって必要となる住居、農地、施設整備等について、サポートを行います。 農業塾卒業生の就農については、普及センター、JA及び町が一体となって支援していきます。
(3)農業従事者(被雇用者)確保対策	農業者等が年間を通じて従事者(町内在住者や移住者)を雇用し、町内の農業の安定的な生産を図るとともに就農するように育成することを積極的に支援します。

3 新しいことへ挑戦する人への積極支援

本気！やる気！元気！しろい！

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
起業・創業者数	5年間で3人
璃の香作付農家数	5年間で3戸

【具体的な施策】	内容
(1)白石町創業者支援制度	町内金融機関等の協力を得て、白石町で起業・創業しようとする個人又は中小企業者の成長性の高い事業計画の実現を支援します。
(2)新規農産物の作付け拡大	新規農産物の主要品目である「璃の香」について、新たに作付けを行っていただく方を募集し、作付け拡大を図ります。
(3)商工業者などへの支援	新商品や新製品の開発、新たな販売促進及びインバウンド対策等に取り組む人への支援を行います。

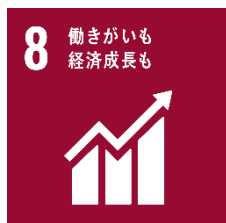
【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
企業等と学校が連携する取組みの数	5年間で20回

【具体的な施策】	内容
(1)“ふるさと学”の推進	町内外の教育機関や企業等との連携を含め、町内小中学校での農業、地域の地理歴史及び文化の理解を深め、ふるさとに誇りと愛着を持ってもらい、将来のUターンにつなげていきます。  写真：JA玉葱選果場(上)、レンコン収穫体験(下)
(2)地元定着の促進	大学、高等学校及び企業等と連携し、町内に居住し、県内で就職する高校生や大学生を増やすための取組を行います。  写真：白石高校 地域連携講座

基本目標②

来たか！住みたか！よかところ！しろいし！
～白石への新しいひとの流れをつくる～

（１）目指す SDGs



（２）数値目標

対象項目	数値目標
観光入込客数	令和元年 351,465人/年 ↓ 令和6年 386,600人/年
移住・定住者数	5年間で650人

※観光入込客数・・・地域を訪れた来訪客のこと。

（３）現状と課題

- 首都圏等から、魅力ある地方への移住希望が増えています。特に、若い世代を中心に田園回帰の潮流が高まっており、農業体験、半農半Xなど多様な形で農業に関わることができる環境整備が必要です。
- 新型コロナウイルス禍で、テレワークなど新しいライフスタイルの変化が起きています。
- 町内では、空き家や空き地が増加しています。
- 有明海沿岸道路や道の駅しろいしは、本町への新しい人の流れをつくる起爆剤となる可能性を秘めています。

（４）めざすべき方向

- 白石町の魅力を発信し、道の駅しろいしを拠点として人・モノ・情報を積極的に交流させ、より多くの人に白石町の良さを伝えるとともに、新しいひとの流れをつくります。
- 都市からの移住希望者に対して、ワンストップで移住関連情報を提供できる体制を作るとともに、お試し移住や仕事の紹介などきめ細かな支援を行います。
- 空き家・空き地を活用し、移住者が住みやすい受け入れ態勢を作ります。
- 白石町の文化財など観光資源を再認識し、それを結び付けることで観光ルートを設定します。また、多様な観光体験を充実させます。

(5) 具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)

1 白石町の魅力発信

来たか！住みたか！よかところ！しろいし！

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
町ホームページアクセス件数	令和元年 440,000件/年 ↓ 令和6年 528,000件/年

【具体的な施策】	内容
(1)道の駅運営支援	町の農水産物・6次産品や観光等の情報発信の拠点として運営の支援を行います。  写真：道の駅しろいし
(2)がばいよかところ発信事業	従来の特産物PRに加え、町そのものを報道機関やSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）等多様な手段を用いて発信することで知名度を上げ、特産物や地域資源を通じたファンの確保や移住者に選択してもらえる町としてPRします。
(3)関係人口の拡大	本町への通勤通学者などと継続的に関わっていき、将来的な移住・定住などにつながる取り組みを行います。

2 定住促進、移住支援

来たか！住みたか！よかところ！しろい！

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
空き家・空き地バンク登録件数	5年間で40件
移住・定住者数	5年間で650人

【具体的な施策】	内容
(1) 空き家・空き地バンク、お試し移住	空き家・空き地バンク制度を継続するとともに、登録された空き家などを活用したお試し移住制度を創設します。
(2) JR通学者・通勤者の利便性向上	通学者・県外通勤者の町内JR駅利用を促進するため、駅周辺を整備します。
(3) 生活排水処理施設の整備の促進	特定環境保全公共下水道施設、農業集落排水処理施設及び浄化槽の一体的な整備を行います。
(4) 住宅取得者への支援	若者・子育て世帯の住宅取得等を支援し、移住・定住の促進を図ります。
(5) 移住者への支援	県外からの移住者に対し支援金を交付し、移住・定住の促進を図ります。

3 地域観光資源の再発見

来たか！住みたか！よか！と！しろいし！

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
観光入込客数	令和元年 351,465人/年 ↓ 令和6年 386,600人/年
観光ルート数	5年間で3本

【具体的な施策】	内容
(1)多様な観光体験の充実	体験型観光のコンテンツの充実と、コト消費総額増加を目的とした誘客活動を図ります。
(2)文化財の再発見	埋もれている文化財の価値を高めるため、国の史跡等の指定、登録記念物への登録等に向けた取り組みを行います。  写真：龍造寺隆信が居城・整備した須古城跡
(3)交通手段の拡充(観光客の利便性の向上)	町内JR駅を利用した観光客が、手軽に町内を観光できるような環境を整備します。
(4)白石町観光振興基本計画による事業の実施	白石町観光推進協議会で、観光ルートの設定・見直しを図ります。

基本目標③

うれしい！楽しい！大好き！しろいし！
～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

（１）目指す SDGs



（２）数値目標

対象項目	数値目標
合計特殊出生率	1.41(H30) → 1.50(R6)
子育ての感じ方満足割合(就学前児童親)	41%(R1) → 45%(R6)
子育ての感じ方満足割合(小学生親)	35%(R1) → 40%(R6)

（３）現状と課題

- 核家族化や人口減少、価値観の多様化により本町においても少子化が進行しています。
- 本町の合計特殊出生率は1.41で、国の1.42、県の1.64と比較しても低い状況です。
- 保護者の子育てに対するニーズは多様化し、ひとり親家庭なども増加傾向にある中で、就業・育児環境においても多くの課題があります。
- そのため、若者の出会いをプロデュースし、将来の本町を支える子どもたちを産み育てやすい環境を整備する必要があります。

（４）めざすべき方向

- 子どもの個性を最大限に発揮し、次世代を担う人材の育成のため、小学校と中学校の再編整備を行い特色のある教育環境を整えていきます。
- 結婚を希望する男女には出会いの場を、また、希望する子どもの数を実現できるサービスや子育て支援など、安心して出産・子育てができる環境を整備します。
- 定住促進対策と組み合わせた少子化対策と子育て支援、仕事と育児の両立支援など若い世代の結婚・子育てに対する希望の実現を目指します。
- 子育ての悩みを1人で抱え込まず、相談・共有できる環境や、出産から子どもが就職するまで切れ目のない支援の実現を目指します。

(5) 具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)

1 結婚推進対策の充実

うれしい！楽しい！大好き！しろいし！

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
成婚数	5年間で160組

【具体的な施策】	内容
(1) 婚活サポート事業の拡充	婚活サポーターによる取組に加え、婚活事業に関連する民間企業や個人との連携、イベントや県内他の市町との連携など多様な取組を行っていきます。 
(2) 結婚新生活支援	結婚に伴う新生活のスタートアップにかかる費用を支援します。

2 出産支援

うれしい！楽しい！大好き！しろいし！

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
合計特殊出生率	1.41(H30) → 1.50(R6)

【具体的な施策】	内容
(1)不妊治療制度の拡充	不妊治療への支援を継続し、相談体制の充実を図ります。
(2)多子世帯への助成	町独自軽減策である、3人目以降の保育料の30%軽減を継続していきます。

3 子育て支援

うれしい！楽しい！大好き！しろいし！

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
子育ての感じ方満足割合(就学前児童親)	41%(R1) → 45%(R6)
子育ての感じ方満足割合(小学生親)	35%(R1) → 40%(R6)

【具体的な施策】	内容
(1)病児・病後児保育の実施	病児・病後児保育の実施に向け利用可能施設の拡充に取り組めます。
(2)一時預かり事業等の充実	一時預かり事業と育児サロン事業を充実します。
(3)子育て支援の情報発信強化	町内で実施されている子育て支援事業等の情報を集約し発信することで、白石町の魅力を伝えるとともに、子育て世代の不安の軽減を目指します。
(4)子育てに関するワンストップ相談体制の整備	R2.1 設置の子育て世代包括支援センターに加え、子ども家庭総合支援拠点を保健福祉課内に設置し、相談支援体制を強化します。
(5)公園施設の充実	白石中央公園、福富マイランド公園、有明スカイパークふれあい郷などの主要公園で、子育て世代の意見を取り入れて、もっと子どもが遊びやすく、町外からも人が集まるような魅力のある公園整備を行います。
(6)切れ目のない子育て支援の実施	町内のすべての子どもとその家庭を対象に妊娠期から子育て期にわたり、子育て支援機関や医療・福祉の専門機関と連携し、継続的に支援をしていきます。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
コミュニティ・スクールの導入・継続	町内全小中学校
教育環境の整備	町内全小中学校

【具体的な施策】	内容
(1)教育環境の整備	教育環境を向上させるため、小学校と中学校の再編整備を行います。  写真：白石中学校
(2)コミュニティ・スクールの導入・継続	統合再編による新たな中学校へコミュニティ・スクールを導入するとともに既存のコミュニティ・スクールの事業を継続し、内容の充実を図ります。

※コミュニティ・スクール

学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域と共にある学校づくり」を進める仕組みのこと。

基本目標④

つながる！温もる！かがやく！しろいし！
～まちに活力をもたらし、地域をみんなで盛り上げる～

（１）目指す SDGs



（２）数値目標

対象項目	数値目標
地域づくり協議会の設立数	5年間で8カ所

（３）現状と課題

- 急激な人口減少や高齢化に伴い、地域において、担い手不足や伝統文化の継承ができていないなど、様々な課題が出てきています。
- 地域の課題は多種多様で、それぞれが知恵を絞って解決していくことが望まれています。
- 地域にはキーパーソンとなるべき人材が埋もれています。
- 地域の活力を取り戻すためには、地域の誰もが活躍できる社会を実現することが必要です。

（４）めざすべき方向

- 町民協働によるまちづくりとして、地域住民が主体となって課題解決に取り組むため、地域づくり協議会の設立を支援します。
- 地域の各団体やまちづくり団体等とともに地域を盛り上げていきます。
- 頻発する自然災害に備えるため、地域の自主的な組織づくりを推進します。
- 地域の人々が持つ豊富な経験・知識・文化を後世に継承していくとともに、誰もが生き生きと活躍できる社会を目指します。
- 男女がお互いに人権を尊重しつつ、責任も分かち合い、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる社会づくりを目指します。

（５）具体的な施策とKPI(重要業績評価指標)

1 町民協働によるまちづくり

つながる！温もる！かがやく！しろいし！

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
地域づくり協議会の設立数	5年間で8カ所
NPO法人の設立数	5年間で3件

※NPO 法人

「Non Profit Organization」の略で、「民間非営利組織」と訳される町民協働のパートナーとして注目されている。

【具体的な施策】	内容
(1)地域づくり協議会の設立支援	生活環境など地域の問題を地域住民が主体となって解決するため、地域内の各種団体などで構成する地域づくり協議会(仮称・概ね小学校区単位)の設立を支援します。この地域づくり協議会には、若者や女性の積極的な参画を促します。  写真：須古地区の暮らしと未来をつくる会議
(2)NPO法人・CSO活動の支援	NPO法人やCSOの設立、活動支援を行うことにより、行政では行き届かないまちづくりや福祉サービスなどの担い手として協働していきます。

※CSO

「Civil Society Organization」(市民社会組織)の略で、NPO 法人、市民活動団体、ボランティア団体に限らず、自治会、婦人会、老人会、PTA などのこと。

2 安全・安心で快適な住みよいまちづくり つながる！温もる！かがやく！しろい！

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
自主防災組織の組織率	5年後に100%

※自主防災組織

地域住民が協力・連携し、災害から「自分たちの地域は自分たちで守る」ために活動することを目的に結成する組織。

【具体的な施策】	内容
(1)自主防災組織の組織化推進	自主防災組織の設立により、自助・共助の取組を推進します。
(2)「自然災害に備える」・「快適に暮らす」住まいづくり	頻発する風水害や地震などの自然災害へ備える住宅づくりを推進します。 既存住宅の機能向上やバリアフリー化などへの支援を継続、または、検討します。

【KPI(重要業績評価指標)】	数値目標
健康体操サロン数	29カ所(R2)→35カ所(R6)
シルバー人材センター年間登録者数	5年後に120人

【具体的な施策】	内容
(1)生涯現役としての活躍促進	高齢者と区切ることなく誰もが年齢に関わらず活躍し、地域を盛り上げてもらうために、起業・創業、文化活動、自分のやりたい仕事ができる場所づくりなどを促進します。
(2)女性活躍の推進	政策の決定過程など様々なまちづくりに対する女性の参画を促すとともに、女性団体の設立やネットワークづくりを支援します。
(3)地域団体によるつながり強化	農業、商工業及び漁業団体の女性部同士や青年部同士など横のつながりの強化をはじめとして、各種団体への支援を通して、地域を盛り上げる新しい取り組みを促します。



第2期白石町まち・ひと・しごと創生総合戦略

発行：白石町

編集：白石町役場 総合戦略課白石創生推進係

〒849-1192

佐賀県杵島郡白石町大字福田 1247-1

T E L 0952-84-7132

F A X 0952-84-6611